

○事業所名	放課後等デイサービスたいじゅの花		
○保護者評価実施期間	令和7年11月17日～令和7年12月12日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 2名
○従業者評価実施期間	令和7年11月17日～令和7年12月12日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月13日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○一人ひとりに合わせた丁寧な支援 発達段階や特性を5領域別にアセスメントを行い、段階を丁寧に把握し、個別支援計画に基づき、無理のない支援を行っている。	・発達段階に合わせ、1日のスケジュールなど、絵カードを使用し視覚的に伝わりやすい様に掲示し、見通しを持てるよう工夫している。 ・個別対応を行っている。 ・パーテーションを使用し、個別で集中できる環境の整備を行っている。	・感覚遊び、粗大運動、微細運動（指先運動）等、目的を持った遊びの設定を個々に行っていく。
2	○安心できる環境づくり 子どもたちが落ち着いて過ごせるよう、環境設定や声掛け等工夫し、安心感が持てるよう工夫している。	・困ったときに助けを求めることが出来るよう、発語だけでなく指差し、ジェスチャーなどで相手に伝えられるようトレーニングを行っている。	・環境設定や声かけのトーンやタイミングに配慮していく。 ・席配置や遊びコーナーの設置。 ・音量や照明を子どもの様子に応じて調整を行う。
3	○社会性・生活力を育む支援 集団活動や日常生活の中でルールや気持ちの切り替え、人との関わり方を学べる支援を行っている。	・順番待ちや物の貸し借りなど、遊びの中で対人ルールを繰り返し、自然に学べるよう工夫を行っている。 ・終わりがわかるよう活動の切り替え時などにタイマーを使用。	・活動の切り替え前に、予告を行い見通しが持てる関わりを意識する。 ・切り替えが難しい時には選択肢を提示する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○情報発信不足	・SNS投稿などの頻度が少なく、外部に支援内容など伝わりにくい状態。	・アンケート結果を踏まえ、支援内容の可視化（SNS投稿、パンフレット配布など）を行っていく。
2	○職員の経験差により支援にばらつきがある	・経験年数の違いにより、関わり方や声のかけ方、判断に差が出ている ・個別対応や振り返りの時間が十分に確保できていない	・支援方針や対応方法を共有する安定的なミーティングの実施 ・役割分担を明確にし、職員一人ひとりの強みを生かした配置の工夫
3	○大きな事故は発生していないが、ヒヤリハットとして拾い上げる視点や報告が十分に定着していない	・事故に至らなかった事例をヒヤリハットとして捉える意識が十分に共有されていない	・ヒヤリハットの定義や具体例を職員間で共有し、小さな気づきも報告対象であることを周知する ・フィードバックを行い、改善につなげる仕組みを構築する